

環境美化重点区域実現を

羽場まちづくり委員会 会長 篠田 信秀



今年度より羽場まちづくり委員会長の仰せつかりました篠田と申します。各正副自治会長をはじめ、本会、管理部、事業部会のみなさまと連携し、諸先輩方の積み上げられた功績を大切にして、一層の努力に全力を注ぎます。

平成最後のまちづくり委員会定期総会が四月二十一日に行われ、全ての議案が承認されまし

あけぼの

第 73 号

発行 羽場まちづくり委員会
 編集 広報部
 育学・公民館部
 広報委員会
 印刷 (株) 秀文社

平成31年4月末日現在

羽場の人口
 男 2,286人 (前号比 -27)
 女 2,464人 (" -15)
 計 4,750人 (" -42)
 世帯数 1,936戸 (" -6)

た。今年度も「安全安心で緑あふれる住み良い羽場地区」を目指して、計画している事業を進め実行していきます。

主な事業として羽場未来構想に基づき、セントラルパークのクリーンアップアクションの実行、羽場地区を、『環境美化重点区域』実現へ。その第一歩の報告事項ですが、昨年度より羽場公園内水路の浄化問題を市政懇談会等で飯田市へ陳情を行ってまいりましたところ、土木課より連絡がおりまして、予算が付き、今年度より御用水と公園内の水路を別にする工事を実行できることになりました。

リニア関連工事においては、排出土運搬における飯田南木曾線拡幅工事の測量は済み、現在埋蔵文化財調査に取りかかっております。

砂払地区J A前拡幅工事は排出土運搬開始までには完了予定となっております。今年度末よりリニア中央新幹線工事が本格的に始まり、ダンプ等の運行が頻繁になると思われます。地元の方々に向け必要に応じて説明会を開き、理解と協力をお願いしていきます。安全管理を徹底し、より安全

で事故のない運行を関連団体各所に強く働きかけてまいります。

自主防災組織においては、年二回防災訓練を行います。必要部署との連絡を取り合い、綿密な打ち合わせ、情報収集を行い進めてまいります。地震、風水害等、自然災害のない年であってほしいと願います。

新体制でスタートいたしました。羽場地区に暮らすみなさまと共に住みよい羽場になりますよう一生懸命頑張ります。

みなさまのご支援ご協力をお願いいたします。



権助公園 (大休) のつつじ

風越山のひとりごと

この四月から広報委員を仰せつかりました。これを機に、羽場まちづくり委員会の各種事業や、羽場の歴史などに知識を深め、また、地区のみなさんとの交流を深めていきたいと考えています。

さて、五月一日から新元号「令和」が施行されました。辞典片手に、字義を調べてみました。「令」には、「いいつけ」、「いましめ」、「おきて」と並んで、「よい」という意味があるそうです(佳き日、という意味の「今日」という言葉もありますね)。一方、「和」には、「やわらかく、やわらげる」、「なごむ」、「あたたか」などの意味があるそうです。万葉集の「初春の令月にして、気淑く風和ぎ、…」から取られ、「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められた「令和」。みなさんにとっても佳き時代となるように願ってやみません。

羽場地区の心が 一つになるように

副会長(内部担当)



桐山 忠彦

今年度羽場まちづくり委員会副会長(内部担当)の重責を担うことになりました。宮本自治会長の桐山忠彦と申します。昨年まで副会長(渉外担当)としてその業務を担ってまいりました。

三つのことを 大事に

副会長(渉外担当)



吉澤 之榮

副会長(渉外担当)になりました吉澤之榮です。よろしく願います。力はありませんが、会長を支え、誠実に務めてまいります。個人的には、三つのこと

たが、今年度は羽場まちづくり委員会での諸会合の運営及び進行役として、各委員のみなさまからのご意見をうかがい、羽場地区の心が一つになって委員会活動ができればと考えます。さまざまな方面から助言をいただき、円滑な委員会運営ができるよう務めていきたいと思っております。



を大事にしたいです。

- 一、役員が心と力を合わせ、チームまちづくり委員会としてまとまり、事業を進めていくこと。
- 二、「羽場の未来構想」の検証。十年計画ですので、ちょうど五年目。住民の声を広く聴き、後半に向かう必要があります。
- 三、事業・予算の見直し。より「安全安心で住みよい羽場地区」づくりにつながる事業・予算に。

リニア時代に 向けて

副会長(財務担当)



代田 康弘

今年度から羽場まちづくり委員会副会長(財務担当)を拝命いたしました大休自治会長の代田康弘と申します。昨年度まで環境美化部会長としてまちづくり委員会にお世話になっていま

円滑な組織運営 を目指して

総務部 部長



宮下 泰造

このたび、総務部長に就任いたしました羽場町二丁目宮下泰造と申します。副兼会計の服部明徳(正永町一)、椎名辰夫(宮本町)、伊藤昇(羽場町一)の四人

た。自治会長も初めてのことで何をやればいいのか全くわからない状態ですが、自然体でいこうと思えます。まちづくりの三役会、代表理事会の会議で、みなさん積極的に取り組んでいこうとすることが感じられてすごいなと思っています。大休地区は、リニア関連、松川ダム排砂、中電清内路水力発電所の工事等のダンブの運行が一日五百台予定されています。事故の起きないようしっかりとした対策を求め、地域としても協力を担当いたします。

総務部の主な業務としては、定期総会や定例理事会等の設営、羽場地区新年会の運営、成人式の支援、空き家対策の取り組み、小中学生を中心とした「あいさつ運動」などです。先輩方のご指導を仰ぎながら、まちづくり委員会の事業が円滑に進められるよう、縁の下の力持ちとなつて努めてまいります。みなさまのご支援ご協力をよろしく願っています。

二〇一九年度 に向けて

危機管理部 部長



宮下 典彦

新たに危機管理部部長を任せられました、白山通りの宮下です。

最近地球規模での異常気象による災害が多く発生し、羽場地区でも昨年度は大雨の影響で三回の避難所開設を行い、避難者の受け入れ体制をとりました。危機管理部の役割は、このような状況を想定し「防災訓練」を行うことで、自主防災会の役員も地域住民も、災害時に的確な避難行動がとれるようになり、このことが、減災・防災につながると思います。安全・安心な地域づくりをするため、微力ながら力を尽くしたいと思っております。